

2019年3月期 決算公告

2019年6月3日

大阪府大阪市中央区農人橋一丁目1番22号
株式会社ナチュラム
代表取締役 堀田 守

貸借対照表

(2019年3月31日現在)

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	1,529,358	流 動 負 債	1,253,569
現金及び預金	58,693	買掛金	684,914
売掛金	523,562	関係会社短期借入金	307,754
商品	826,282	未払金	198,462
前渡金	43,425	未払費用	14,781
前払費用	10,263	未払法人税等	420
未収金	67,130	預り金	2,829
		賞与引当金	5,495
		ポイント引当金	17,290
		未払消費税	19,250
		その他	2,368
固 定 資 産	537,274	負 債 合 計	1,253,569
有形固定資産	984	純 資 産 の 部	
工具、器具及び備品	984	株 主 資 本	813,063
無 形 固 定 資 産	10,587	資 本 金	100,000
ソフトウェア	10,457	資 本 剰 余 金	270,284
電話加入権	100	資 本 準 備 金	10,000
商 標 権	30	その他資本剰余金	260,284
投資その他の資産	525,702	利 益 剰 余 金	442,779
関係会社株式	477,790	その他利益剰余金	442,779
差入保証金	24,223	繰越利益剰余金	442,779
繰延税金資産	23,688	(うち当期純利益)	(203,892)
		純 資 産 合 計	813,063
資 産 合 計	2,066,633	負 債 純 資 産 合 計	2,066,633

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

① 関係会社株式 移動平均法による原価法によっております。

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

① 商品 先入先出法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)によっております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産を除く) 定率法
ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)については、定額法を採用しております。

(2) 無形固定資産(リース資産を除く) 定額法
なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

3. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金 使用人及び使用人としての職務を有する役員に対して支給する賞与に充てるため、支給予定見込額の事業年度負担分を計上しております。

(2) ポイント引当金 将来の販売時に使用されると見込まれるポイントに対して、平均使用実績率を計算し、これを当事業年度の末日現在において、発生しているポイントに乗じて金額を計上しております。

4. その他計算書類作成のための重要な事項

(1) 消費税等の会計処理 税抜方式によっております。

(2) 連結納税制度の適用 連結納税制度を適用しております。

(株主資本等変動計算書に関する注記)

発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首 株式数(株)	当事業年度増加 株式数(株)	当事業年度減少 株式数(株)	当事業年度末 株式数(株)
発行済株式				
普通株式	1,741,455	—	—	1,741,455
合計	1,741,455	—	—	1,741,455

(その他の注記)

記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。